



直方南小学校だより

令和7年6月 26日(木)

直方市立直方南小学校

No.13 校長 塩田 朋久

直方南小学校のあゆみ⑥ ～激動の昭和へ～

1931(S6)

満州事変

100年史より・・・本校の昭和戦前期のあゆみです。

・1928年(昭和3年) 「福岡県鞍手郡直方町立直方南尋常小学校」と改称

・1931年(昭和6年) 「福岡県直方市立直方南尋常小学校」と改称

※直方市制施行による

・1932年(昭和7年) **ラジオ体操**開始

・1936年(昭和11年) プール完成(現存のとは違います)

・1940年(昭和15年) 「**養正道場**」完成

・1941年(昭和16年) 「福岡県直方市直方南国民学校」と改称

※国民学校令施行による

1932(S7)

5.15事件

1933(S8)

国際連盟脱退

1936(S11)

2.26事件

1937(S12)

日中戦争

1938(S13)

国家総動員法公布

1939(S14)

第二次世界大戦

1941(S16)

真珠湾攻撃

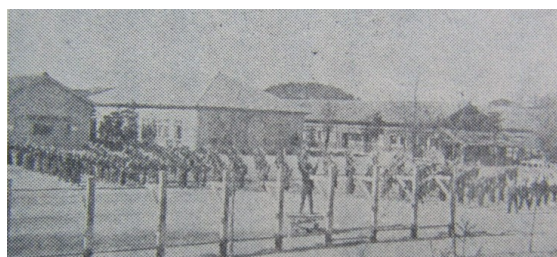
太平洋戦争へ

1945(S20)

終戦

ラジオ体操が始まる

ラジオ体操の放送が始まったのは、1928年(昭和3年)。国民の体力向上と健康の保持や増進を目的としてスタートしました。本校では1932年にラジオセットが保護者の方から寄付されて、7月から全校で行っていました。



「養正道場」が建設される

当時、日本は天皇中心の国でした。また、「日本精神」を教育するために、それに特化した建物が必要だということで建設されたのが「養正道場」です。その建物で学んでいたのは「修身」。人としての生き方を考える学習で、現在の道徳と役割は同じですが、内容は当時の軍国主義の色の濃いものでした。当時の南校校訓は・・・①敬神 ②剛健 ③明朗 これは決して本校だけの特徴ではなく、全国的に同様だったのです。



き方を考える学習で、現在の道徳と役割は同じですが、内容は当時の軍国主義の色の濃いものでした。当時の南校校訓は・・・①敬神 ②剛健 ③明朗 これは決して本校だけの特徴ではなく、全国的に同様だったのです。

当時の様子を卒業生は次のように語っています。

・養正道場は昭和15年にできて、伊勢神宮に鏡を受けに校長先生が行きました。

南校の生徒全員の出迎えを受けて直方駅から養正道場に持ち帰りました。生徒はそれから修身の時間には畳の上にきちんと座って修身の授業を受けました。悪いことをした時は先生に連れていかれて叱られよりましたので、おそろしい所だと記憶が残っております。女の子は毎日「ぬかぞうきん」をかけて板張りを磨きに行きよりました。校長訓話は、6年生の時、養正道場でありよりました。

この養正道場は、南小の後、市内全小学校に建設されました。(つづく)